

# ふたかみ NEWS プチトマト

## 「障害者生活耕房 アネックス」 建設工事がスタートしました！



完成イメージ



重い障害があっても「グループホームで生活したい」そんな願いからスタートした「障害者生活耕房 アネックス」  
暑い中から始まった工事が、現在(2月8日)写真のような感じです。  
建物ができていくのと同時に、今度は「どんな暮らし」にしたいのか、思いを共有して、「仲間が主人公」の生活の場づくりをしていきます。

## ハピバール 大人の集い



ハピバールでは、4名のなかまが成人を迎えられました。大人の仲間入りですね！先輩のなかまからも「成人おめでとう！」とお祝いの言葉を頂きました。これからもお仕事を頑張って、色々な経験をして素敵な大人へとなれるように頑張ってください！（阪本）  
本当におめでとうございます。

### カフェハピバール お知らせ

貸し切り 3月7日(月)  
定休日 毎週水曜/日曜  
休み 3月5日(土)  
19日(土)  
21日(祝)

お問い合わせ先  
072-958-3232

このまちで暮らしたい  
「障害者生活耕房」(グループホーム)  
—建設募金のお願い—  
2022年6月open予定!!  
新しい暮らしを支える拠点として...  
建設募金へのご協力よろしくお願い致します。

◆郵便振替◆  
【口座番号】00950-3-225417  
【加入者名】社会福祉法人ふたかみ福祉会

◆銀行からゆうちょ振込◆  
【金融機関コード】9900 【店番】099 【預金種目】当座  
【店名】〇九九店(ゼロキユウキユウ店) 【口座番号】0225417

きょうされん 第45次  
国会請願署名・募金運動  
全国キャンペーン  
2021年12月~2022年4月

障害者権利条約を地域のすみずみに  
障害のある人びとを支える  
制度づくりのための  
署名・募金にご協力ください。

- 後援会入会及び更新の方々(敬称略)
- 【2021年度1月】
  - ・山本富子 . . . . . 以上5口
  - ・渡辺博子 田邊佑介 . . . . . 以上4口
  - ・石田陽喜 . . . . . 以上1口
  - 寄附 . . . . 細川直幸様/家族会 マスクを寄付していただきました
  - ボランティア . . . . 畑英作様/垣内秀夫様
  - アルミ缶回収(1月分) . . . . 995 kg
- ありがとうございました

◆2021年度ふたかみ福祉会后援会入会、更新のお願い◆  
法人ではグループホーム建設が始まっています。  
皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。  
【個人会費:1口3,000円 団体会費:1口10,000円】 郵便振替口座:00940-5-325894

# 第25回経営管理者総合研修会に参加して

「コロナ禍の今、日本国憲法と障害者権利条約から真に人権の守られる社会を目指して」という題で行われました。コロナ感染第6波の広がる中で、私たちはなにかの安全と普通の生活のどちらも守りながら日々実践と判断をしています。しかしそれを天秤にかけないといけない事があります。それが政府の対応の遅れや、不十分な制度が原因で起きている事もあります。今何が起きているのかを様々な角度から知り、管理者として何をしていくのかを学びました。

基調報告でSDGsは「E1」という視点だけではなく、将来にわたって平和で安心して住み続ける事が出来る地球を後の世代に残すための視点で17の解決すべき目標があります。そこには平和や福祉、貧困など障害者権利条約に書かれている内容と一致する世界的な基準がある事を学びました。人権や働き方も含めこれらは私たちがずっと訴えていた事でもあり、権利条約とSDGsという二つの違った

側面を持つ世界基準が背中を押してくれているように感じました。更に声を強め訴えていきたいと思います。

シンポジウムでは、精神医療、福祉施設、当事者活動の最前線の現場でコロナ禍で起きている事について話し合われました。ここでは身を削って障害者を守る現場に行政からの支援が行き届いていない現状や、現場や当事者でないとわからないような生々しい現実が語られました。結局最後は家族に頼らざるを得ない状況や、ただでさえ不自由な暮らしをしている中でコロナで支援が受けられなくなり普通に生活を続ける事さえも困難になっていく現状が語られました。

記念講演では同志社大学の岡野八代さんの講演と藤井克徳さんの対談がありました。印象的だったのは安全保障という言葉は英訳するとセキュリティという言葉になるそうです。意味はケアが無い状態だそうです。安全保障を謳う国は、国民を守ら

## はるクラブ

### 「女性特別企画」

支援センターはる（南河内北障害者就業・生活支援センター）に登録されている方の余暇活動として、今回は女性限定で『はるクラブ女子会』を行いました。みなさんそれぞれお菓子を持ち寄り分け合いながら、日々の悩みや今後の目標など色々なことを話合いました！集まった方の年齢は様々でしたが、話題は一人暮らしの話題に！これから考えている方、既に経験されている方、まだ考えていない方、色々な方の意見を聞きながら一緒に考えることができました！既に経験されている先輩の話が聞けたことや、この場を通して繋がりが深まったことは非常に大きな収穫だと思います！今後もコロナ感染症対策を徹底しつつ、みんなで語り合える・楽しめる機会を考えていきます！（大前）



### 「男性特別企画」

男性企画では、

「カフェ&いきいき体操」と称してハピボールでストレッチ体操を実施。家でもできるようにYouTubeで検索した動画を見ながら体操で体をしっかりほぐしました。

カフェタイムでは、各自選んだケーキとドリンクをいただきながら楽しいひと時を過ごすことができました。食事中は黙食で食後に全員マスクをしての話でしたが直接会って話すことができたのは本当に良かったです。実感しました。コロナ禍ではありますが今後とも予防対策をしっかり実施し体を動かすことや人との繋がりを提供する機会を提供していきます。（大竹）



ない事を謳っているのと同じとおっしゃっていました。また、福祉労働はこれまでは家庭の中の女性の仕事として評価の対象にしてこなかった歴史が長く続いてきました。今の日本は表面的には福祉は大切と言っていますが、最後には家族に負担させ、個人責任にされてしまっている事が現状で、過去の日本の社会の仕組みがそのまま残っているように感じました。更に、資本主義のものの考え方は、金銭的な価値に換算できるものは評価するが、生活に最も大切なものでも金銭的な価値のない物は評価しない事を「水とダイヤモンド」を引用して話されました。しかし改めて気づいた事は、それらを決めているのは私たちが選んだ代表で、間接的に私たちがそうした仕組みを許している現実がある事を学びました。最後に今様々なところで話題に上がる世代交代の取り組みについてのシンポジウムがありました。登壇されたのは「次世代」と言われる方々で、法人や

## ゆったり班

### 「誕生日会」



1月28日にゆったり班では、1月生まれの方たちの誕生日会を行いました。ゆったり班では一年一年を大切に出来るよう、誕生日を迎えることが出来たことを祝う日を設定しています。この日は3名の誕生日を仲間、職員、班の全員でお祝いしました。美味しいケーキに舌鼓を打つ仲間たち、また一つ楽しい経験が出来ました。（田岡）



事業所を立ち上げてきた第一の世代が引退し、それを引き継ぎ更に発展させていく取り組みが紹介されました。私自身もそういった世代に当たり期待を背負いながら、次に繋いでいくための覚悟を僅かながらに感じたところです。

この研修で学んだのは間違った事を許さない事。そして、それを見抜く力をつける事です。更に今ある制度や事業を次の世代に発展させながら繋いでいく事の大切さを学びました。それを実践していくにはまず自分の力量をあげていく事が求められます。しかし一人の力だけではなく、多くの人たちと繋がりが共感しあえる関係を広げていく事が必要です。こんな時だからこそたくさんの人と繋がりが、共感と英知を蓄えて必要なあらゆるものを守っていきたくないと強く感じました。（関口耕）

## はびぎの園

### 「テイクアウト」

1月29日の土曜開所で、テイクアウトの取り組みを行いました。コロナ禍が続く中で、外食がなかなか難しくなったこともあり、仲間もこの日の取り組みを心待ちにしていました。テイクアウトの行き先は、各班それぞれ、マクドナルドやスターバックス、ケンタッキー、パン屋さんと様々でした。

午前中に自分たちの食べたいメニューを選んで購入することが出来ました。園に戻って食べている時は、みんな満面の笑みでした。「おいしかった！」「またやりたい！」と大好評でした！（植田）

